

まとめと練習① 過去分詞 やってみよう 解答・解説

【1】受け身(受動態)の文：be 動詞 + 過去分詞

①

- (1) Jun is **liked** by many people.
- (2) These comics were **read** in the United States.
- (3) *Botchan* **was written** more than 100 years ago.
- (4) When **was** this picture **taken** ?



解説

(1) 「愛されています」という意味になるように、like を過去分詞形の liked にします。

プラス1点博士 「〇〇によって・・・されます」を表すのは、**by+〇〇**。

(2) 主語が These comics (これらの本) なので、be 動詞は複数形に使う are。ここでは過去形の were になっています。

プラス1点博士 read の過去形と過去分詞形は現在形と同じ形 read ですが、発音が [red] になります。

(3) 「～されました」と過去の文にすときは、was / were + 過去分詞になります。

(4) 疑問文は be 動詞+主語+過去分詞～? という語順です。疑問詞 (When, What, How など) を使う時は、疑問詞を文頭におき、その後は疑問文の語順が続きます。

②

- (1) These pictures were painted by some junior high school students.
- (2) The house was not (wasn't) built last year.
- (3) Is rice eaten around the world?
Yes, it is.



解説

(1) もとの文は「数人の高校生がこれらの絵を描きました。」という意味です。その文を[受け身の文]にすると、「これらの絵は数人の高校生によって描かれました。」となります。主語+be 動詞+過去分詞+by+人、の語順に並べ替えよう。

(2) 受け身の文は今までの学習してきた be 動詞がある文と同じです。否定文は「be 動詞の後ろに not (否定語) を置く」という、1年生の時の学習を思い出そう。

プラス1点博士 was not の短縮形→wasn't, were not の短縮形→weren't

(3) 受け身の文の疑問文も、be 動詞がある文と同じです。be 動詞を文頭に(主語の前に)持っていくと疑問文になります。

プラス1点博士 疑問文で、主語が人以外の単数の場合、**it** で置き換えます。主語が複数の場合、**they** で置き換えます。

【2】現在完了形の文：have または has + 過去分詞

現在完了を用いて表す表現は、

①継続「ずっと・・・している」

継続の用法でよく使われる語 for(・・・間), since(・・・[して]以来)

②経験「これまでに・・・したことがある」

経験の用法でよく使われる語 ever([疑問文で]これまでに), never([否定文で]一度も・・・ない)

③完了「・・・したところだ」, 「・・・してしまった」

完了の用法でよく使われる語 just(ちょうど), already(すでに), yet([否定文で]まだ(・・・しない), [疑問文で]もう)

以上の3パターン。それぞれの用法で**よく使われる語**と一緒に覚えましょう。

①

(1) I have **known** Tim for three years.

(2) The bus **has** already **arrived** at the station.



解説

(1) 「私は3年間ティムを知っています。」という意味になるように、know を過去分詞形の known にします。

プラス1点博士 for(・・・間)が使われていることから、**継続の用法**ということに気が付きますね。

(2) 主語が The bus (3人称) なので、have+過去分詞ではなく、has+過去分詞になります。already や just は、have と過去分詞の間に置きます。

プラス1点博士 already(すでに)が使われていることから、**完了の用法**ということに気が付きますね。

②

(1) Have you read my message yet?

(2) They have never been to Australia.



解説

(1) 現在完了形の文の疑問文は、have を文頭に置き、Have+主語+過去分詞～?という語順になります。「もう～しましたか？」を表すときは、yet(もう)を文の最後に置きます。yet は否定文で使うと「まだ～していない」という意味になることに注意。

(2) 現在完了形の否定文は have の後ろに not を置きます。しかし、経験の用法では「一度も・・・したことがない」という意味になるので、not を使わず never(一度も・・・ない)を使います。never を置く位置は、not と同じように have の後ろです。

プラス1点博士 have been to ○○ → ○○に行ったことがある(経験の用法), have gone to ○○ → ○○に行ってしまった(完了の用法)という使い方をするので、「行く」に関わる**現在完了形の文**は間違えやすいので注意!!

